

銃による暴力保護命令

カリフォルニア州では、平均で3時間に1人が銃による暴力で命を落としています。被害を防ぐため、州には9つの保護命令があります。これらの命令により、銃を一時的に没収し、支援を受ける機会を与えることができます。人々の安全を守るのに役立ちます。



保護命令と銃による暴力の危険を減らす方法についての詳しい情報は、ここをスキャンして入手できます。

ReducetheRisk.ca.gov



REDUCE THE RISK

Gun Violence Protection Orders Save Lives



銃による暴力禁止命令

誰の役に立つのか
身近な人（例：配偶者、パートナー、ルームメイト、家族など）から傷つけられたり、恐怖を感じたりしている人

申請できる人

- 法執行機関
- 家族や親戚
- 配偶者、パートナー、ルームメイト
- 上司、同僚
- 当人の通う学校の教師

命令期間
21日間。1～3年延長可能



家庭内暴力接近禁止命令

誰の役に立つのか
自分自身または他人に対して差し迫った危険となる人々。

申請できる人
身近な人（例：配偶者、パートナー、ルームメイト、家族など）から傷つけられたり、恐怖を感じたりしている人

命令期間
21日間、1～5年延長可能



民間ハラスメント禁止命令

誰の役に立つのか
親しい関係にない人から、嫌がらせ、ストーカー行為、脅迫を受ける危険がある人。

申請できる人
危険を感じている、脅かされている人

命令期間
21日間。1～5年延長可能



高齢者 / 扶養成人虐待禁止命令

誰の役に立つのか
虐待、放置、経済的被害にあっている高齢者、または障害を持つ成人。

申請できる人

- 65歳以上、または身体／知的障害のある18歳から64歳の方
- これらの成人の保護を求めている方

命令期間
21日間。1～3年延長可能



少年少女接近禁止命令

誰の役に立つのか
18歳未満の子供が傷害、いじめ、脅迫を受けている場合。あるいは、暴力や脅迫行為をしている子供から保護を必要としている人。

申請できる人
少年裁判所の事件に関係する人々（例：親、保護者、当事者の家庭内の子供、裁判所の保護下にある少年少女のための / からの保護を求める保護観察官やソーシャルワーカー）

命令期間
21日間。1～3年延長可能

高等学校における暴力禁止命令



誰の役に立つのか
誰の役に立つのか

申請できる人
大学または専門学校のリーダー、またはリーダーが任命した人物

命令期間
21日間。1～3年延長可能



職場における暴力禁止命令

誰の役に立つのか
職場で脅迫を受けている、危険を感じている従業員、ボランティア、独立請負業者、取締役、公務員。

申請できる人
雇用人
命令期間
21日間。1～3年延長可能



犯罪保護命令

誰の役に立つのか
刑事事件の被害者または証人。

申請できる人
刑事事件を担当する地方検事。

命令期間
事件の期間：最長10年まで延長可能



緊急保護命令

(EPO-001 および EPO-002*)
* 緊急時に発行される GYRO (銃暴力保護命令)

誰の役に立つのか
自分自身または他人に対して差し迫った危険となる人々。

申請できる人
警察官
命令期間
公判日数5日または暦日数7日